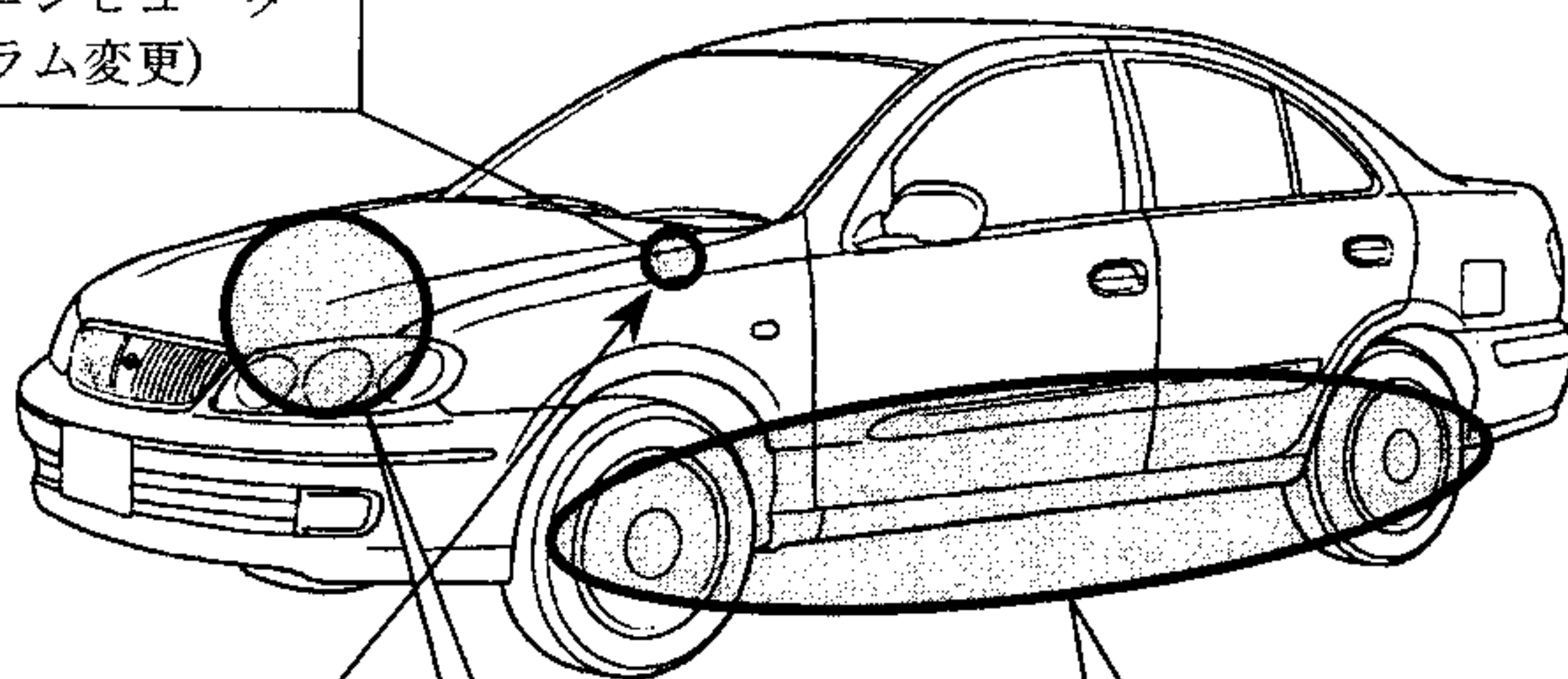


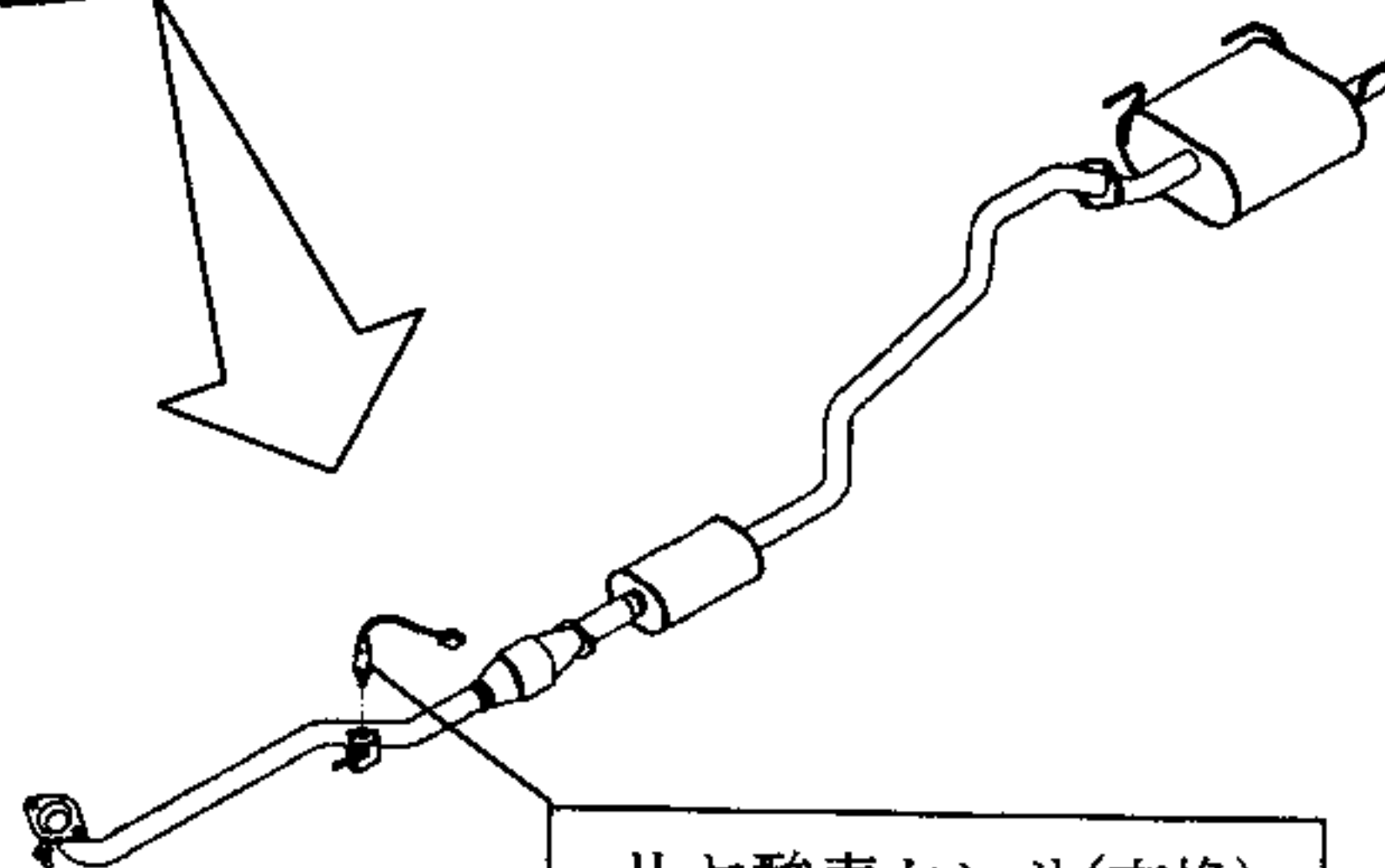
改善箇所説明図

原動機制御コンピュータ
(プログラム変更)



基準不適合発生箇所

原動機制御コンピュータのプログラムが不適切なため、空燃比の補助制御をしているリヤ酸素センサが破損した場合であっても、警告灯が点灯しない。また、イグニッションコイルにおいて発生する点火ノイズの影響により、リヤ酸素センサの素子が破損する場合があります、その場合にも警告灯が点灯せず、そのまま使用を続けると、空燃比補助制御が正確に出来なくなり、排出ガスが基準を満足しないおそれがある。

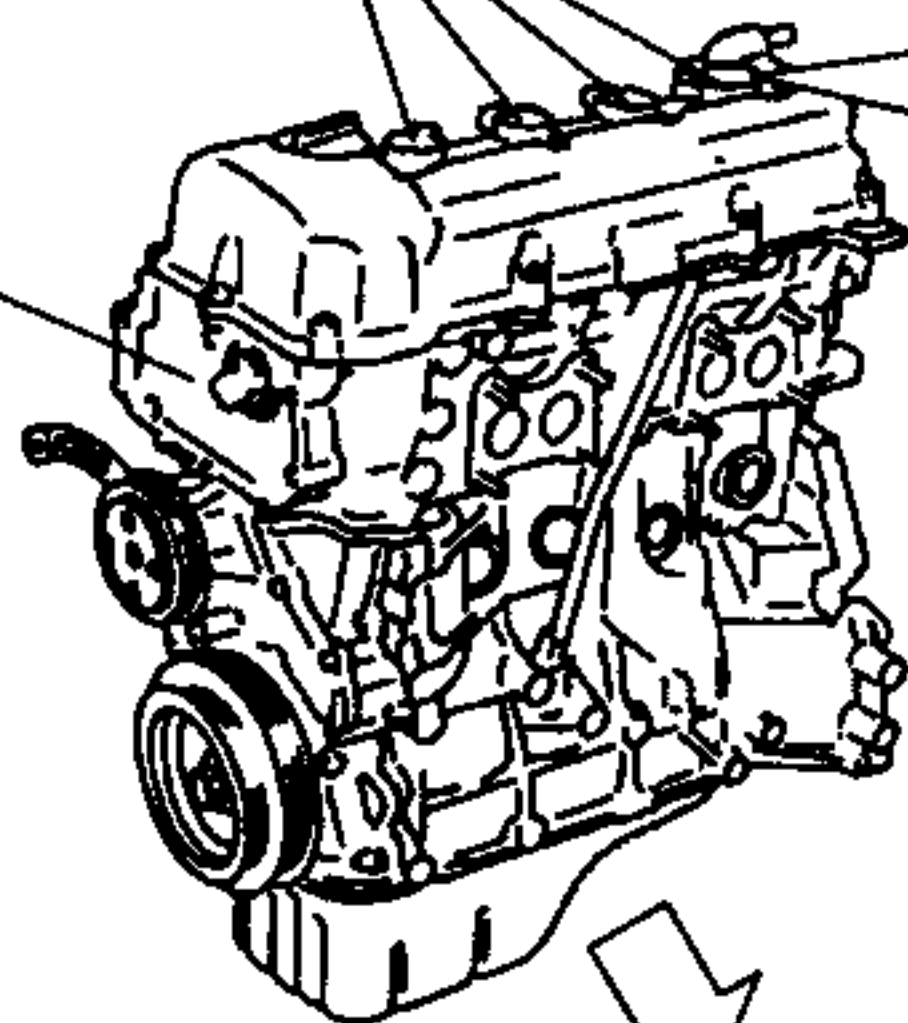


リヤ酸素センサ(交換)

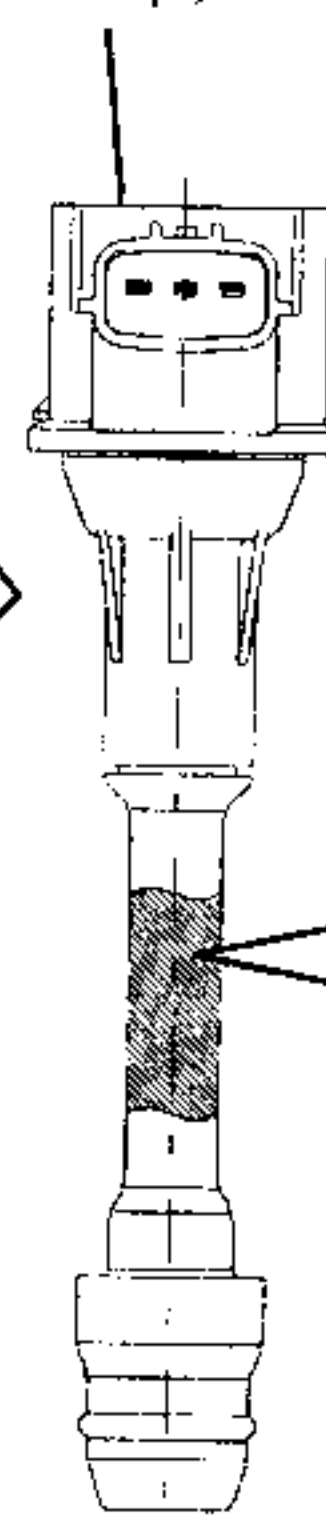
イグニッションコイル

イグニッションコイル

原動機



車両前方



スプリング(交換)

対策前	対策後
	 抵抗

改善の内容

全車両、当該プログラムを変更する。さらに、当該イグニッションコイル内のスプリングに抵抗がついていない車両については、抵抗付きスプリングに交換するとともに、当該酸素センサを新品と交換する。

識別：銀色のシールをモデルナンバープレートに貼付する。

注： は、交換、または変更する部品を示す。